



I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立むつ養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	一日のはじまりとおわり（登下校）		
	単元(題材)の目標	見通しを持ち主体的に活動することや、それを元に良好な関係を保ち、相手との意思疎通を図るコミュニケーション能力を高めることで、QOL が向上し地域社会での豊かな生活につながると考え、アナログでのスケジュールボードをデジタル化したスケジュールアプリを個人用タブレット端末にインストールし、学校生活や家庭生活、さらには地域社会での生活に役立てることができるようになる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	2 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	予定を何回も確認しながら行動し、予定が変わったり、好意を持つ人物がいなかったりすることで泣いたり、その場から動かなくなったりすることが多い。また、トイレの失敗をすると自責の念に駆られ、同じ状態になる。		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad		
	使用したアプリケーションの名称	Googlekeep、ドロップタップ	 	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援 ) <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 ( <input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input checked="" type="checkbox"/> 時間支援 ) <input type="checkbox"/> 学習支援 ( <input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援 ) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	・得意としていることや現在できていることを汎用し、楽しみながら活動できるようにする。		
活用の状況と支援	活用の状況と支援 ○活用場面 ・教室移動をスムーズにしたいとき ○行った支援 ・今まで使用して習慣化したアナログのスケジュールボードとスケジュールアプリを使用したタブレット端末を併用し、全体の予定を把握しながら直近の予定を写真などで視覚的に確認した。 ○生徒の様子・変容 ・タイミング良く提示すると、気分が変わり行動に移す意欲を高められた。 ・カバーを使用したがる、持ち歩くには重い、タップが難しいなど課題が見られた。 ・意思伝達手段としては、自分で起動することは難しいが、教師が示した二択からは選ぶことができた。生徒のパターンが分かっている場合は、タブレットよりもカードなどを使用した方が手軽だとわかった。			

